

蘇南高OB「さんになん展」

大桑できょうから 中畑さん、岡田さん、中野さん



自身の作品を手にする（左から）中畑さん、岡田さん、中野さん。大桑村歴史民俗資料館で

ピエロや木曾の風景 対象も技法も多彩

蘇南高校（南木曾町）を一九七〇年三月に卒業した同級生三人が二十五日から、大桑村歴史民俗資料館で絵画展「思いさんになん展」を開く。二回目の開催で、三人は「同級生で絵画展を開けるのはうれしい。大勢の人に見てほしい」と来場を呼び掛けている。（桜井祐二）

三人は同村の中畑勝美さん（六六）、岡田政晴さん（六六）、塩尻市の中野智晃さん（六五）で、高校三年間を同じクラスで過ごした。

教諭で絵画の制作活動もしていた中畑さんと岡田さんは退職後の四年前、「ふたり展」を同村で開催し、二年前には、美術部仲間だった中野さんにも声を掛けて初の「さんになん展」を上松町で開いた。今回は、その後制作した作品を中心に展示する。

中畑さんはアクリル画を中心に十六点を出品。おどけて人を笑わすピエロの生き様が好きといいい、十三点はピエロを描いている。

子どもの表情のほ

264(55)3550

大学でも美術部に所属した中野さんは、一回目の展示会に合わせて制作活動を再開。自宅近くの風景や旅先で見た風景などのアクリル画十六点を出品し「まだまだ描けると思うので頑張りたい」と意欲を見せる。

さんになん展は九月三日まで。入場無料。今月二十六日午後一時半からは、三人が同館でギャラリートークをする。大桑村歴史民俗資料館